

2021



学校要覧



愛媛大学教育学部附属特別支援学校 Ehime University School for Students with Special Needs

〒790-0855 松山市持田町1丁目5番22号

TEL (089) 913-7891

FAX (089) 913-7892

ホームページ <http://tokushi.edc.ehime-u.ac.jp/>
Eメール tokushi@edc.ehime-u.ac.jp

愛媛大学教育学部附属特別支援学校 校歌

作詞 渥見 秀夫
作曲 井上 洋一

mf

1. い　し　づ　ち　の　の　や　ま　の　た　か　さ　の　そ
2. せ　と　う　ち　の　の　う　え　に　う　お　ひ　さ　ま　ひ　と　つ
き　み　も　わ　た　し　も　も　ひ　と　つ　の　い　の　ち
き　み　も　わ　た　し　も　も　ひ　と　つ　の　い　の　ち
お　ひ　さ　ま　い　つ　で　も　の　み　ん　な　ろ　の　ち　な　か　ら　一　い　の
お　ひ　さ　ま　い　み　ん　な　の　み　こ　ニ　の　ち　な　か　ら　一　い　の
ち　ち　の　や　か　さ　ぎ　し　り　く　ニ　え　え　か　ふ　ぎ　か　り　く　ふ　ふ　ぞ　ぞ
く　く　の　の　と　と　も　も　は　は　さ　た　さ　す　え　け　あ　あ　う　う　み　み　ん
な　な　が　が　い　み　ん　で　な　もの　み　こ　ん　こ　な　ろ　の　の　ち　な　か　か　ら　に
瀬戸内の海の青さの
その向こうお日さま一つ
君も私も一つのいのち
お日さまみんなの心の中に
いのちやさしく声深く
みんながみんなの心の中に
附属の友は援けあう
みんながみんなの心の中に

mp

f

1 石鎚の山の高さの
その上にお日さま一つ
君も私も一つのいのち
お日さまいつでもみんなの力
いのちのかぎり声かぎり
附属の友は支えあう
みんながいつもみんなの力
みんながいつでもみんなの力
1 石鎚の山の高さの
その上にお日さま一つ
君も私も一つのいのち
お日さまいつでもみんなの力
いのちのかぎり声かぎり
附属の友は支えあう
みんながいつもみんなの力
みんながいつもみんなの力

目 次

I	学校概要	2
1	沿革	2
2	愛媛大学附属学校園の理念	5
3	本校の使命	5
4	本校の教育	5
	(1) 学校の教育目標	
	(2) 重点目標	
	(3) 経営方針	
5	学校運営の組織	6
	(1) 教職員の一覧表	6
	(2) 校務分掌	7
	(3) 学校防災全般	8
6	児童生徒数及び各部・学級編制	8
II	教育計画	9
1	教育課程表	9
	(1) 小学部	
	(2) 中学部	
	(3) 高等部	
2	指導の形態別週あたり授業時数表	10
	(1) 小学部	
	(2) 中学部	
	(3) 高等部	
3	日課表	11
	(1) 小学部	
	(2) 中学部	
	(3) 高等部	
4	年間行事計画	13
5	進路指導	15
III	教育研究活動	16
1	研究の方針	
2	研究の概要	
IV	教育実習	18
1	年度別学生数	
2	本年度の計画	
V	入学者選考	19
VI	P T A・教育後援会・親の会	21
VII	津田山実習地・日常生活訓練施設「みかんの家」	22

I 学校概要

1 沿革

- 昭和42年4月1日 附属小学校に特殊学級1学級設置許可 教官1名配置
8月31日 第1回入学選考 4名入学許可
9月9日 持田地区元文理学部図書室にて授業開始、その後2名編入許可
- 昭和43年2月28日 昭和43年度入学選考 2名入学許可
4月1日 附属小学校特殊学級1学級増設認可 教官2名増員
持田地区元学生寮を教室に改造し移転
8月27日 編入学選考 8名入学許可
- 昭和44年3月18日 附属小学校特殊学級第1回卒業式 卒業生4名
4月1日 附属中学校に特殊学級1学級設置認可 教官1名配置
附属小学校特殊学級と同一校舎にて授業開始
第1回入学生徒10名
5月15日 言語障害児教育教員養成課程第1回教育実習開始
- 昭和45年4月1日 附属中学校特殊学級1学級増設認可 教官2名増員
4月12日 養護学校教員養成課程第1回教育実習開始
4月23日 教育学部教授会にて将来持田地区に養護学校を設置することを決定
6月29日 校舎新築のため城北地区元附属小学校跡へ移転 附属小中学校と離れ特殊学級
単独行事を行うことになる
9月16日 養護学校設置将来計画のもとに鉄筋2階建（一部平屋）1,179m²の新校舎建築
に着工
- 昭和46年3月10日 新校舎落成
3月16日 新校舎落成式
4月1日 附属中学校特殊学級1学級増設認可 教官1名増員
4月16日 養護学校設置準備委員会発足 養護学校設置に関する推進母体となる
9月1日 昭和47年度文部省計画に愛媛大学附属養護学校設置が認められる
- 昭和47年1月10日 愛媛大学教育学部附属養護学校設置政府案決定
3月18日 附属中学校特殊学級第1回卒業式 卒業生4名
4月1日 愛媛大学教育学部附属養護学校設置認可 小学部3学級32名、中学部3学級
30名、初代校長・浅海忠教授外教職員14名にて発足
4月11日 開校式、第1回入学式 小学部5名、中学部5名
4月20日 附属養護学校父母と教師の会発足
9月3日 本館、高等部教室、作業室、体育館の新築に着工
- 昭和48年3月17日 第1回卒業式、卒業生小学部6名、中学部15名
3月30日 本館、体育館等 新築工事落成
4月1日 高等部1学級認可 教官3名増員
4月20日 高等部第1回入学式 入学生12名
9月11日 学校給食開始
- 昭和49年4月1日 高等部学年進行に伴い1学級増設 教官2名増員
1月10日 通学用スクールバス購入
- 昭和50年4月1日 高等部学年進行に伴い1学級増設 教官3名増員
- 昭和51年4月1日 第2代校長に中村章教授就任
4月10日 松山市北斎院町津田山乙223番地（約14,374m²）本校農園実習地として財務局
より移管が決まる。以後、P.T.A、地元公民館有志の協力を得、特に日野P.T
A会長の厚志により造成に尽力する
- 昭和52年3月29日 津田山に教場1棟（129m²）完成、津田山実習地開場祝賀会を行う
12月16日 校地内の職員住宅を撤去し、運動場を新設 運動場開き小運動会を行う
- 昭和55年4月1日 第3代校長に永田幸令教授就任
- 昭和56年4月1日 定数改善により教官1名増、校長以下22名となる

昭和56年 7月 1日 養護学校正門および水泳プール（20m 5コース、幼児用プール）が完成しプール開きを行う

11月 8日 創立10周年記念式典の挙行 記念誌「あゆみ」を発刊し、学校の歌を制定

11月30日 スクールバス買い替え

昭和57年 4月 1日 定数改善により教官1名増、校長以下23名となる

昭和58年 3月30日 津田山実習地に農機具庫、作業教室（プレハブ）移設

4月 1日 定数改善により教官1名増、校長以下24名となる

昭和59年 4月 1日 第4代校長に塚本三朗教授就任

定数改善により教官1名増、校長以下25名となる

昭和60年 4月 1日 定数改善により教官1名増、校長以下26名となる

昭和62年 4月 1日 定数改善により教官1名増、校長以下27名となる

昭和63年 4月 1日 第5代校長に井原栄二教授就任

平成元年 6月 1日 津田山実習地に水田2aを造成する

平成 3年11月24日 創立20周年記念式典を挙行する

創立20周年記念碑を建立、併せて校旗を制定し、記念誌「あゆみ」を発刊する
研究の集積として「養護学校の授業を探る」（明治図書）を出版、併せて記念
に時計を玄関に設置する

平成 4年 4月 1日 第6代校長に久保木道子教授就任

定数改善により教官1名増、校長以下28名となる

9月 1日 津田山実習地に「日常生活訓練施設」着工

11月20日 スクールバス買い替え

平成 5年 5月14日 日常生活訓練施設の落成式典を挙行し「みかんの家」と命名する

平成 6年 4月 1日 第7代校長に井原栄二教授就任

8月10日 津田山実習地の貯水池改修工事が完成する

平成 7年 4月12日 校舎壁面補修、全面塗装第1期工事が完了する

4月28日 津田山実習地日常生活訓練施設屋外付帯施設開場式を挙行、「咲啄庵」^{さくたくあん}と命名

平成 8年 3月12日 情報学習室を新設し、関連機器を整備する

3月15日 園芸用温室を設置する

3月29日 校舎・体育館の全面塗装第2期工事及び南側塀の改修工事を完了する

4月 1日 第8代校長に水町俊郎教授就任

平成 9年 4月 1日 定数改善により教官1名増、校長以下29名となる

11月 学内ネットワークに接続する

平成10年 1月27日 ホームページを開設する

4月 1日 持田キャンパス、事務一元化開始

平成11年 3月 給食室改造、ドライシステムとなる

6月30日 太陽光発電設備が完成する

平成12年 4月 1日 第9代校長に建川博之教授就任

平成13年 7月 学校安全の為、正門に警備員を配置する

9月17日 創立30周年記念として「コンビネーション遊具」を設置する

11月11日 創立30周年記念式典を挙行する

平成14年 3月14日 記念誌「あゆみ」を発刊する

3月 正門監視カメラ、生徒教室・特別教室に非常通報装置を設置する

4月 1日 完全学校週5日制が始まる

平成15年 2月 7日 愛媛教育研究大会（養護学校の部）を平成14年度より2月開催として実施

3月31日 高等部用トイレの新設及び共通・小学部トイレの全面改修を行う

10月 1日 校長事務取扱に金藤泰伸教育学部長就任

11月 1日 第10代校長に山本万喜雄教授就任

平成16年 3月31日 電気室の全面改修工事、正門改修工事、東塀のフェンス取り付け工事、プール
観覧席屋根の改修工事完了

4月 1日 国立大学法人愛媛大学教育学部附属養護学校となる

平成17年7月2日	井戸水ポンプ設置
9月	中学部ベランダ全面改修工事、北棟屋上防水工事、小学部屋根塗装
12月	スクールバス買い替え
平成19年2月	小・中学部に空調設備が入る
4月	国立大学法人愛媛大学教育学部附属特別支援学校となる 第11代校長に上岡一世教授就任
11月	高等部に空調設備が入る
平成20年4月	特別支援学校のセンター的機能の充実を図るために非常勤講師1名を配置
6月	愛媛大学教育改革推進事業（愛大G P）を受け、五校園が連携した特別な教育的ニーズのある子どもへの適切な支援体制の構築への取組を始める
9月	教育学部G Pを受け、木工室、布工室に作業機械を設置する トラック買い替え
平成21年4月	調理室調理台4台・給湯設備の設置、作業学習（クリーン・農耕・印刷）実習器機の整備
	校務用コンピューター整備・地上デジタル放送対応テレビ設置
平成22年3月	教育環境整備（本館屋上防水シート改修、本館屋上手すりの塗装、本館1階廊下床改修、小学部玄関壁改修、通路舗装、自転車置き場屋根改修）
5月	愛媛大学教育改革推進事業（愛大G P）を受け、附属五校園の特別支援教育を重視した教育活動の推進について取組を始める
6月	中学部廊下床、排水溝改修、印刷作業室に空調設備が入る
7月	児童生徒用机・イス補充
平成23年2月	『将来の「働く生活」を実現する教育—キャリア教育に基づく支援内容・方法の検討一』（明治図書）を出版する
3月	教育環境整備（全館建具改修、月組・中学部トイレ全面改修、小学部資料室全面改修、女子更衣室・保健室・職員室・事務室の床改修、小学部シャッター改修、正門横及び運動場横通路外灯設置、正門カーブミラー設置）
4月	第12代校長に花熊暁教授就任
11月	愛媛大学教育改革促進事業の一環として、愛大G P研修会「授業のユニバーサルデザインについて考える公開授業とシンポジウム」を開催する
	創立40周年記念事業として、記念式典及び祝賀会を挙行する
平成24年3月	創立40周年記念事業として、記章・校旗等の新調、校歌の制定、記念誌「あゆみ」の発刊をする
8月	校舎等耐震改修工事着工
平成25年3月	校舎等耐震改修工事竣工
平成26年2月	平成25年度キャリア教育優良学校として、文部科学大臣表彰を受賞する。
4月	キャリア教育・就労支援等の充実事業受託
8月	大学の学生向け情報基盤整備に伴い、各教室、情報学習室、印刷作業室等に22台のコンピューターが配置される
平成27年3月	給食受室、マルチルーム工事完了
4月	第13代校長に吉松靖文教授就任
	キャリア教育・就労支援等の充実事業受託
平成28年4月	キャリア教育・就労支援等の充実事業受託
平成29年3月	校務用コンピューターの更新（13台）
10月28日	愛顔つなぐえひめ大会（第17回全国障害者スポーツ大会）開会式式典演技に代表生徒出演
平成30年12月	東側フェンス工事完了
平成31年3月	校務用コンピューターの更新（10台）
4月	第14代校長に鶴原進教授就任
令和3年1月	プール改修工事完了
3月	G I G Aスクール端末及びシステム納品

2 愛媛大学附属学校園の理念

愛媛大学附属学校園は、附属高等学校、教育学部附属幼稚園、同小学校、同中学校、同特別支援学校の5校園からなり、その特色と各校の取組を活用して、共通の理念による教育を実践する。

【共通教育理念】

「未来を拓く人材の育成」

子どもたち一人一人が能力を十分に発揮することによって自らの人生の可能性を拓くとともに、一人一人の特質を生かしながら未来社会の発展に寄与する。

【養いたい三つの力】 「ともに生きる力」「たくましく挑戦する力」「知を追い求める力」

3 本校の使命

学校教育法の規定及び愛媛大学附属学校園の理念に基づき、知的障がいのある子どもの教育を行うとともに、次の任務を果たすこととする。

- 教育の理論及び実際にに関する研究並びにその実証を行う。
- 教育学部（以下「学部」という。）における児童及び生徒の教育に関する研究に協力し、及び学部の計画に従い学生の教育実習や介護等体験を実施する。
- 附属校として実践的研究の成果を生かし、地域における特別支援教育のセンター的機能を発揮する。

4 本校の教育

(1) 学校の教育目標

「たくましく生きぬく力をもつ子どもの育成～すべての子どもの自立、社会参加、就労の実現を目指す～」

【目指す子ども像】

- 自分のよさを生かし、自主的、主体的な生活のできる子ども
- 自分の思いや願いをもち、学校生活、家庭生活、地域生活、職業生活などの多様な生活の場で役割を果たし貢献できる子ども

(2) 重点目標

- ① 子ども一人一人の障がいの状態やニーズを把握して、発達的視点に立った適切な教育的支援を行い、子どもの可能性を最大限に伸ばす。
- ② 小学部・中学部及び高等部12年間の指導の連続性を重視した一貫教育を行い、自立し社会参加、就労するために必要な力を培う。
- ③ 家庭、地域社会及び関係諸機関との連携を図り、個別の教育支援計画及び個別の指導計画を作成し、就学前から高等部卒業後までの一貫した自立的支援に努める。

(3) 経営方針

- ① 授業の質の向上を目指す。

機能する最小の支援により、子どもが自ら考えて主体的に活動し、子どもの内面が育ち、子どもが変容する授業を行う。

- ② 研究の質の向上を目指す。

小学部、中学部、高等部12年間の連続性・系統性を重視し、研究過程と結果の見えるストーリー性の高い研究を行う。

- ③ 集団の質の向上を目指す。

子どもの集団、保護者の集団及び教師の集団の質を高める。

- ④ 連携の質の向上を目指す。

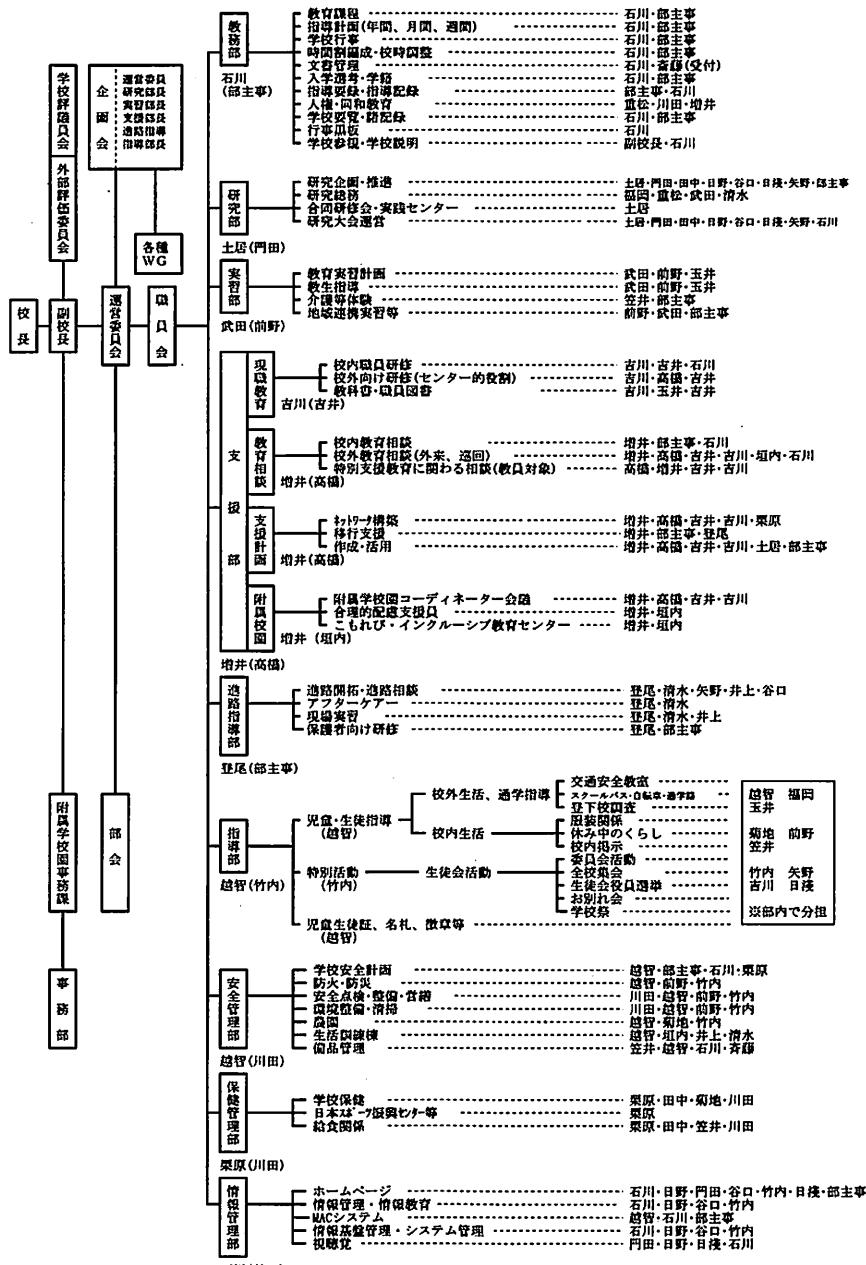
子どもを中心に据え、子どものための積極的で前向きな支援の連携を行う。

5 学校運営の組織

(1) 教職員の一覧表

職名	氏名	担当校務等
校長	鷲原 進	
副校長	仲神 正人	
教諭	垣内 育栄	小学部主事
教諭	井上真佐子	中学部主事
教諭	清水美智子	高等部主事
教諭	石川 圭	教務主任
教諭	高橋 美紀	小学部月組担任・特別支援教育コーディネーター
教諭	玉井 淳子	小学部月組副担任
教諭	福岡 幸恵	小学部花組担任
教諭	増井日登美	小学部花組副担任・特別支援教育コーディネーター
教諭	日野 信彦	小学部星組担任
教諭	田中 泰代	小学部星組副担任
教諭	越智 政英	小学部
教諭	吉井 美貴	中学部1年担任・特別支援教育コーディネーター
教諭	門田 良介	中学部1年副担任
教諭	前野 麻記	中学部2年担任
教諭	菊地 弘明	中学部2年副担任・中学部生徒指導主事
教諭	谷口 泰祐	中学部3年担任
教諭	重松 万希	中学部3年副担任・人権・同和教育主任
教諭	笠井真奈美	中学部
教諭	吉川 志保	高等部1年担任・特別支援教育コーディネーター
教諭	土居 克好	高等部1年副担任・研究部長
教諭	日浅 優	高等部2年担任
教諭	川田 幸子	高等部2年副担任
教諭	矢野 佐和	高等部3年担任
教諭	竹内 昭雄	高等部3年副担任・高等部生徒指導主事
教諭	登尾 康介	高等部・進路指導主事
教諭	武田 友希	高等部・教育実習部長
養護教諭	栗原 吏加	保健主事
非常勤講師	和田 実華	センター的機能充実のための非常勤講師
教育支援者	赤岡 英子	中学部の学習支援
教育支援者	今川 承子	高等部の学習支援
合理的配慮支援員	花山 敦子	附属幼・小・中・高の合理的配慮支援
合理的配慮支援員	道上喜美子	附属幼・小・中・高の合理的配慮支援
合理的配慮支援員	森田 幸恵	附属幼・小・中・高の合理的配慮支援
合理的配慮支援員	矢野奈津子	附属幼・小・中・高の合理的配慮支援
附属学校園事務課		
課長	前川ゆかり	
副課長	越智 義明	
自動車運転手	久保田 卓	スクールバス運転
事務補佐員	斎藤 美和	附属特別支援学校事務
臨時用務員	坪田 真美	スクールバス添乗
事務補佐員	信高 雄一	津田山実習地・日常生活訓練棟「みかんの家」管理

(2) 校務分掌 (先頭者が各係の主任)



各種委員会	○運営委員会 ○学校評議員会・職員会 ○いじめ防止委員会 ○情報教育活性化委員会 ○学校評議員会 ○特別支援教育委員会 ○教育環境委員会 ○子育て支援委員会 ○入学選考委員会 ○PTA・PTA連絡委員会 ○ブルーボトル委員会 ○自己評議員会 (学校評議員会・外部評議員会) ○研究性活動委員会 ○50周年記念行事検討委員会 ○第100回愛媛教育研究大会運営委員会(ragazzi)	P.T.A. (各事・副校長・会計実務: 副校長, 会計部: 増井, 業務部: 萩原) 教育評議員会(副校長)・会計実務: 副校長 職員会(副校長)・会計実務: 石川 同窓会(井上・増井・石川) 市租賃任務会(笠井) 教育学部運営委員会(石川・吉井) 職員会(日野・日野・玉井・越智・前野・川田) 学生生徒会(副校長) 英語会話会(笠井) 英語会会員数(日野) 木村加古川耕作地委員会(内内) 防火管理委員会(副校長) 神田地区安全衛生委員会(石川)	代団員(副校長) 幹部員(石川) 運営別支援(玉井) 梁川副委員長(アシスタント) 梁川副委員長(アシスタント) 梁川副委員長(アシスタント) 梁川副委員長(アシスタント) 梁川副委員長(アシスタント)	特別校務会 研究会 代団員(副校長) 幹部員(石川) 運営別支援(玉井) 梁川副委員長(アシスタント) 梁川副委員長(アシスタント) 梁川副委員長(アシスタント) 梁川副委員長(アシスタント)

企画会: 1回/月
職員会議: 1回/月(水曜日)
小・中・高等部会: 1回/週

(必要に応じて変更有り)

* 教科・領域等の各部担当者 (○が代表者) ※代表者の学年は変更可→変更後、副校長に報告

教科・領域等	小学校	中学校	高等部	教科・領域等	小学校	中学校	高等部	教科・領域等	小学校	中学校	高等部
日常生活の指導	○高橋 ○日野	吉井 —	土居 —	作業 市 工	—	吉井 ○川田	交流及び共同学習	垣内	○井上 日野	武田 ○門田	日野
遊びの指導	○日野	—	—	学習 國 箕	—	笠井 ○竹内	視聴覚教育	日野	○谷口 日野	武田 ○日野	竹内
生活実習学習	田中 ○門田	吉川 家庭・職業家庭	○増井 重松 矢野	情報教育	玉井 ○吉井	○吉井 ○日野	環境教育	○越智 前野	○越智 登尾	○笠井 武田	○越智 矢野
作業学習	渡邊 —	○武田 清水 国工・美術	福岡 保健体育	田中 保健	○川田 ○日野	○日野 ○井上	総合的な学習の時間	—	○笠井 武田	○笠井 武田	○笠井 武田
クリーン	—	前野 ○矢野	保健体育	田中 保健	○川田 ○日野	○日野 ○井上	総合的な学習の時間	—	○笠井 武田	○笠井 武田	○笠井 武田
印刷	—	重松 道野	○自立活動	○垣内 ○井上 登尾	○玉井 吉井	○吉井 土居	—	—	—	—	—
裁縫	越智 和也	○竹内	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(3) 学校防災全般

① 目的

- 災害に対して必要な準備と適切な措置により、災害を未然に防ぎ、またその被害を最小限に留める。
- 児童生徒・教育実習生等及び教職員の身体の安全を確保する。
- 重要物件等、学校財産の保全に努める。

② 行動計画

- 発見者は副校長室、事務室に通報し、次の組織により通報連絡、避難、消火にあたる。
- 組織



③ 避難訓練等の予定

(防火防災関係)

第1回 4月16日(金)	学校	避難訓練 (火災を想定しての避難訓練)
第2回 7月26日(月)	みかんの家	避難訓練 (避難誘導経路の確認・教員対象)
第3回 9月2日(木)	学校	避難訓練 (地震・火災を想定しての避難訓練)
第4回 10月28日(木)	学校	持田地区合同避難訓練
第5回 1月13日(木)	学校	避難訓練 (火災を想定しての避難訓練)

(不審者対策)

第1回 4月8日(木)	非常通報装置の作動確認と訓練 (教員対象)
第2回 4月30日(金)	非常通報装置を使っての訓練

6 児童生徒数及び各部・学級編制

学部	小 学 部						中 学 部			高 等 部			合 計
	月組		花組		星組		1 年	2 年	3 年	1 年	2 年	3 年	
学級	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年							
男	3	2	2	2	2	2	4	3	4	4	4	5	37
女	0	1	1	1	1	1	2	3	2	4	4	3	23
小計	3	3	3	3	3	3	6	6	6	8	8	8	60
合計	6												

II 教育計画

1 教育課程表

(1) 小学部

区分	組・学年	月組		花組		星組	
		1年	2年	3年	4年	5年	6年
各教科	生 活	300	300	300	300	300	300
	国 語	120	120	145	145	145	145
	算 数	95	95	145	145	145	145
	音 楽	105	105	105	105	105	105
	図画工作	80	80	110	110	110	110
	体 育	105	105	105	105	105	105
道 德		35	35	35	35	35	35
特 別 活 動		35	35	35	35	35	35
自 立 活 動		35	35	35	35	35	35
合 計		910	910	1015	1015	1015	1015

(2) 中学部

区分	組・学年	1年	2年	3年
		国語	105	105
各教科	社 会	105	70	70
	数 学	70	70	70
	理 科	70	70	70
	音 楽	70	70	70
	美 術	70	70	70
	保 健 体 育	105	105	105
職 業・家 庭		245	280	280
道 德		35	35	35
特 別 活 動		35	35	35
自 立 活 動		35	35	35
総合的な学習の時間		70	70	70
合 計		1015	1015	1015

(3) 高等部

区分	組・学年	1年	2年	3年
		国語	105(3)	105(3)
必履修教科	社 会	70(2)	70(2)	70(2)
	数 学	70(2)	70(2)	70(2)
	理 科	70(2)	70(2)	70(2)
	音 楽	70(2)	70(2)	70(2)
	美 術	70(2)	70(2)	70(2)
	保 健 体 育	105(3)	105(3)	105(3)
職 業		280(8)	280(8)	280(8)
家 庭		70(2)	70(2)	70(2)
小 計		910(26)	910(26)	910(26)
道 德		35(1)	35(1)	35(1)
特 別 活 動		35(1)	35(1)	35(1)
自 立 活 動		35(1)	35(1)	35(1)
総合的な学習の時間		—	—	—
総合的な探究の時間		35(1)	35(1)	35(1)
合 計		1050(30)	1050(30)	1050(30)

2 指導の形態別週あたり授業時数表

(1) 小学部

区分	組・学年	月組		花組		星組	
		1年	2年	3年	4年	5年	6年
各教科	生 活	—	—	—	—	—	—
	国 語	1	1	1	1	1	1
	算 数	1	1	1	1	1	1
	音 楽	2	2	2	2	2	2
	図画工作	—	—	—	—	—	—
	体 育	2	2	2	2	2	2
	小 計	6	6	6	6	6	6
各教科等を指導する教員	遊びの指導	3	3	2	2	2	2
	日常生活の指導	10	10	10	10	10	10
	生活単元学習	7	7	11	11	11	11
	小 計	20	20	23	23	23	23
道 德		—	—	—	—	—	—
特 別 活 動		—	—	—	—	—	—
自 立 活 動		—	—	—	—	—	—
合 計		26	26	29	29	29	29

(2) 中学部

区分	組・学年	1年	2年	3年
		国 語	社 会	数 学
教科別の指導	理 科	—	—	—
	音 楽	1	1	1
	美 術	—	—	—
	保 健 体 育	3	3	3
	職 業・家 庭	—	—	—
	小 計	4	4	4
	日常生活の指導	3	3	3
各教科等を指導する教員	生活単元学習	11	8	8
	作業学習	9	12	12
	小 計	23	23	23
	道 德	—	—	—
特 別 活 動		—	—	—
自 立 活 動		—	—	—
総合的な学習の時間		2	2	2
合 計		29	29	29

(3) 高等部

区分	組・学年	1年	2年	3年
		国 語	社 会	数 学
教科別の指導	理 科	—	—	—
	音 楽	1	1	1
	美 術	—	—	—
	保 健 体 育	3	3	3
	職 業	—	—	—
	家 庭	—	—	—
	小 計	4	4	4
各教科等を指導する教員	日常生活の指導	3	3	3
	生活単元学習	6	6	6
	作業学習	16	16	16
	小 計	25	25	25
道 德		—	—	—
特 別 活 動		—	—	—
自 立 活 動		—	—	—
総合的な学習の時間		—	—	—
総合的な探究の時間		1	1	1
合 計		30	30	30

3 日課表（登校 8:40）

(1) 小学部

【月組（1・2年）】

校 時	月	火	水	木	金
1	日常 生活 の 指 導				
2	ことば・かず 朝の運動				
3	生活単元学習	生活単元学習	遊びの指導	遊びの指導	生活単元学習
4			音 楽		
5	日常 生活 の 指 導				
6	日常生活の指導				

【花組（3・4年）・星組（5・6年）】

校 時	月	火	水	木	金
1	日常 生活 の 指 導				
2	ことば・かず 朝の運動				
3	生活単元学習	生活単元学習	生活単元学習	遊びの指導	生活単元学習
4			音 楽		
5	生活単元学習	生活単元学習	日常生活の指導	生活単元学習	音 楽
6	日常生活の指導	日常生活の指導		日常生活の指導	日常生活の指導

(2) 中学部

校 時	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導				
	朝の運動	日常生活の指導	朝の運動		
2	作業学習 A 木工班 布工班 印刷班 園芸班	作業学習 B 農耕班	作業学習 A 木工班 布工班 印刷班 園芸班	生活単元学習	1年
3					2・3年
4					作業学習 C クリーン班
5		音楽	生活単元学習		生活単元学習
6		保健体育	総合的な学習の時間		

(3) 高等部

校 時	月	火	水	木	金
1	S H R				
	朝の運動			S H R	朝の運動
2	作業学習 A 木工班 布工班 印刷班 園芸班 クリーン班	作業学習 B 木工班 布工班 印刷班 園芸班 クリーン班	作業学習 A 木工班 布工班 印刷班 園芸班 クリーン班	作業学習 C 農耕班 クリーン班 流通・サービス班	生活単元学習
3					
4					
5					
6	総合的な 探究 の時間 生活単元 学習	作業学習 B 木工班 布工班 印刷班 園芸班 クリーン班	保健体育	音楽	生活単元学習
			音楽	保健体育	作業学習 B 木工班 布工班 印刷班 園芸班 クリーン班

※作業学習 A は中学部・高等部合同で実施

4 年間行事計画

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
1 木	運営委員会 着任 合同新任式	火	現場実習説明会 給食停止日 PTA役員会	木	企画委員会 教育実習事前指導①	水
2 金	企画委員会	水	金	月	木	始業式 下校11:40 9月教育実習～14日 避難訓練(地震・火災)
3 国	憲法記念日	木	企画委員会	火	金	任命式
4 土	みどりの日	金	火	水	土	
5 月	職員会議	木	全附連総会・全附P 連総会(文書審議)	月	校納金振替日	木
6 火	各種係会 引継ぎ	木	校納金振替日	火	給食停止日	金
7 水	各種係会	金	【高】胸部C R検査 心電図検査	月	職員会議	火
8 木	職員会議 非常通報装置作動確認訓練	火	木	教育実習事前指導② 松山市養護教諭研修会	木	山の日
9 金	入学式準備	水	職員会議	金	振替休日	木
10 土	月	木	【高】現場実習～23日	火	金	
11 土	火	給食停止日	金	水	土	
12 月	新任式 始業式 入学式 【全】下校11:40	水	職員会議	月	【高】下校13:10 個人懇談	木
13 火	木	歯科検診 尿検査	火	下校13:10 個人懇談	金	月
14 水	金	尿検査予備日	月	下校13:10 個人懇談	木	火
15 木	任命式	火	【中】現場実習・ 校内実習～18日	木	教育実習事前指導③	水
16 金	避難訓練(火災)	水	研究職員会	金	研究職員会	木
17 土	月	給食停止日 研究職員会	木	火	火	金
18 土	P T A総会等 下校11:40	火	金	水	木	
19 月	運動会準備	火	月	下校14:00 【高】求職受理相談	木	
20 火	下校13:10 家庭訪問	木	50周年記念運動会 下校12:00	火	終業式・表彰式 下校11:40 職員会議	金
21 水	下校13:10 家庭訪問 企画委員会 運動会集会	金	月	水 夏季休業～8/31	木	火
22 木	大学附属合同研修会	火	火	火の日	水	教育センター初任者研修会場 下校15:20
23 金	四附連総会(高知) ※書面決議	えひめパラスボ 記録会(陸上等)	水	木 スポーツの日	月 企画委員会	木 秋分の日
24 土	月	木	火	火	火	金
25 土	火	金	5 校園 P T A連絡 協議会	火	水 入学希望者説明会 職員会議	木 全附 P T A連研修会全国 大会(リモート)
26 月	【高】下校13:10 家庭訪問 内科検診	水	感謝の会 耳鼻咽喉科検診	月	木 避難訓練(みかんの家) 職員作業	木
27 火	P T A本部役員会	木	火	火	火	月
28 水	眼科検診・色覚検査 (小6・中3・高3希望者) 職員会議	金	月	火	木	火
29 土	昭和の日	火	木	火	水	
30 金	避難訓練(不審者対応)	水	金	月	木	
31	月	給食停止日	火	火		

「虹の会」とは、同窓会活動の中で会員を対象とした活動

10月		11月		12月		1月		2月		3月	
1 金	【認定登録】PTA役員会 中国・四国地区特別支援学校訪問 智教育校PTA連合会研究懇親会	月		水		日	元日	火	給食停止日	火	PTA役員会
2 団		火	給食停止日 学校祭準備	木		回		水	研究大会準備	水	企画委員会
3 回		団	文化の日 学校祭 下校14:00	金		周		木	研究大会(10回大会)~5日 (特別支援学校の部)	木	【高】下校13:10 個人懇談
4 月		木		回		火		金		金	下校13:10 個人懇談
5 火	給食停止日 PTA役員会 校納金振替日	金	校納金振替日 下校11:40 小学部入学選考	回		水	校納金振替日	回		回	
6 水	企画委員会	回		月	校納金振替日	木		回		回	
7 木	地方祭	回		火	給食停止日	金		月	校納金振替日	月	校納金振替日 下校13:10 個人懇談
8 金		月	下校11:40 中学部入学選考	水	下校11:40 高入学選考	回		火	新入生説明会	火	
9 団		火		木		回		水	企画委員会	水	下校14:00 職員会議
10 回		水		金	下校13:10 個人懇談	回	成人の日	木		木	高卒式 下校11:40
11 月		木		回		火	始業式 下校11:40 職員会議	回	建国記念の日 PTA作業交流	金	
12 火		金		回		水		回		回	
13 水	職員会議	回		月	下校13:10 個人懇談	木	避難訓練(火災)	回	PTA作業交流予備日	回	
14 木		回		火	【高】下校13:10 個人懇談	金	任命式	月		月	
15 金		月		水	生徒会役員選挙 企画委員会	回		火		火	
16 団		火	【高2・3】現場実習~12/3	木	研究職員会	回	虹の会(新成人を祝う会)	水	職員会議	水	
17 回		水		金		月		木	就職支援ネットワーク会議	木	下校14:00
18 月		木	【高1】現場実習~12/1	回		火	PTA役員会	金		金	修業式 小・中学部卒業式 下校11:40 職員会議
19 火		金	【中】現場実習・ 校内実習~26日	回		水		回		回	
20 水		回		月		木		回		回	
21 木		回		火		金		月		回	春分の日
22 金		月		水	下校14:00 【高】求職相談・仮登録	回		火	研究職員会	火	春季休業~4/10
23 団		回	勤労感謝の日	木	終業式 下校11:40 職員会議	回		回	天皇誕生日	水	
24 回		水		金	冬季休業~1/7	月		木		木	
25 月	研究職員会	木	PTA職場研修会	回		火		金	お別れ会	金	
26 火	PTA職場懇談会 現場実習説明会	金		回		水		回		回	
27 水		回		回		木	【高】合同就職説明会	回		回	
28 木	持田地区4校园合同 避難訓練	回		火		金		月		月	離任式 合同離任式
29 金	持田地区4校园合同 避難訓練(予備日)	月		回		回					火
30 団		火	PTA役員会	回		回					水
31 回				回		月					木

5 進路指導（卒業時年度別進路状況）

年 度	性 別	中 学 部							高 等 部							計				
		就 職	本 校 進 学	他 校 進 学	訓 練 校 等	福 祉 施 設	在 宅	そ の 他	計	一般 就 労 (就職)		訓練施設 ・訓練校	福祉的就労 (福祉施設の利用)			在 宅	そ の 他			
										一般 企 業	就 労 繼 續 A		就 労 移 行	就 労 繼 續 B	生 活 介 護					
S 47～ H 23	男	10	157	4	2	3	5		181	283	98	1	80			11		190	313	
	女	5	91	4	1	0	1		102		62	3	48			10		123		
24	男		6						6	6	3	2			1			6	8	
	女								0							1	1		2	
25	男		5						5	6	2	1		2	1				6	8
	女		1						1						1	1			2	
26	男		3						3	6	2				1	1			4	8
	女		3						3		1				3				4	
27	男		4						4	6	4	1				3			8	8
	女		2						2										0	
28	男		3						3	5	2				3	2			7	8
	女		2						2		1								1	
29	男		3						3	6	2		1		1	1			5	8
	女		3						3			1			1	1			3	
30	男		4						4	6	1		1	1		2			5	8
	女		2						2		1				2				3	
R元	男		3						3	6	3	1				1			5	8
	女		3						3		1	1				1			3	
R 2	男		3						3	6	2	1				1			4	8
	女		3						3		2	1				1			4	

※進路先区分の「一般就労（就職）」の中には、福祉施設の利用の就労継続支援A型事業所を含む。

III 教育研究活動

1 研究の方針

- (1) 知的障がいのある児童生徒の教育を効果的に行うため、常に児童生徒の実態把握に心がけ、理論に裏付けられた実践研究を継続する。
- (2) 研究の理論的な根拠・問題の究明については、論議を尽くして討議し、関連研究諸機関における専門的立場にある研究者の指導・助言を仰ぎ、研究の成果をより一層確かなものとする。
- (3) 教育学部・附属校園との連携を図り、互いに協力して研究を進め、特別支援教育における研究体制を確立する。
- (4) 県下の各種研究団体・研究組織と密接な連携を図り、各種の教育研究会に積極的に参加し、研究推進を図るように努める。

2 研究の概要

昭和48年度以降、研究実践を毎年研究集録としてまとめ、愛媛教育研究大会で発表している。以下は、これまでの研究主題及び研究集録を示す。

昭和47年4月～昭和48年5月

教育課程の編成

研究集録1

昭和48年6月～昭和49年5月

障害の多様化に応ずる養護・訓練の指導

研究集録2

昭和49年6月～昭和50年5月

障害の多様化に応ずる養護・訓練の実践事例とその課題

研究集録3

昭和50年6月～昭和52年6月

意思伝達力を高める指導（2か年研究）

研究集録4

昭和52年7月～昭和55年5月

身体的能力の向上を求めて（3か年研究）

研究集録5～7

昭和55年6月～昭和57年5月

生活力を高める指導（2か年研究）

研究集録8・9

昭和57年6月～昭和60年5月

生活に役立つことば・かずの指導（3か年研究）

研究集録10～12

昭和60年6月～昭和63年5月

意欲的な子どもを育てる指導

研究集録13～15

昭和63年6月～平成4年5月

一人ひとりが生きる指導内容・指導方法の改善（4か年研究）

研究集録16～19

※ 平成3年3月 「養護学校の授業を探る」を明治図書より出版（A5版 230頁）

平成4年6月～平成7年6月

一人ひとりの自立を求めて 一 個々が生きる生活づくり（3か年研究）

研究集録20～22

平成7年7月～平成10年5月

社会性を育て、高める生活づくりを求めて

一 個を見つめ、個に応じた支援のあり方に視点をあててー（3か年研究）

研究集録23～25

平成10年6月～平成13年5月

主体的に生きる子どもを育てる

一 個が生き、集団が生きる授業づくり（3か年研究）

研究集録26～28

平成13年6月～平成17年1月

子どもたちの豊かな生活を目指して（3か年研究）

研究集録29～31

※ 平成14年度から愛媛教育研究大会（養護学校の部）の開催日が第3学期となる。

平成17年2月～平成20年1月

子どものニーズにこたえる学校であるために

－連携・協力体制に基づく自閉症児への支援の最適化を目指して－（3か年研究）

研究集録32～34

平成20年2月～平成23年1月

卒業後の「働く生活」を実現するために

－キャリア教育の視点から12年間の教育内容の検討－（3か年研究）

研究集録35・36

※ 平成23年2月「将来の『働く生活』を実現する教育－キャリア教育に基づく支援内容・方法の検討」を明治図書より出版（A4版 165頁）

平成23年2月～平成25年1月

卒業後の「働く生活」を実現するために

－小・中・高等部12年間の系統的なキャリア教育を推進するための授業づくり－（2か年研究）

研究集録37・38

平成25年2月～平成28年1月

卒業後の「働く生活」を実現するために

－生活意欲・働く意欲を育てる授業づくりを通して、キャリア発達を支援する－（3か年研究）

研究集録39～41

平成28年2月～平成31年1月

地域で存在価値を示すことのできる子どもを育てる

－「自らの価値」を磨き、実感する確かな学びを通して－（3か年研究）

研究集録42～44

平成31年2月～

地域で豊かに生きる子どもを育てる

－地域と連携・協働し、貢献を実感する学びを通して－（3か年研究）

研究集録45～

WEB公開

（令和2年度）

IV 教育実習

本校では、特別支援教育教員養成課程、学校教育教員養成課程等の副免、教育実践高度化専攻の学生についての教育実習を行う。

1 年度別学生数

年 度	主免生	副 免 生 (基礎免等による分類)				特 殘 教 育 特 別 専 攻 科	臨時養護学校 教員養成課程
		小	中	幼稚園	郵学校		
平成元 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15	養成学校教員課程 (発達障害教育教員養成課程) (発達障害コース)	20	22	1	0	1	9
		17	13	2	2	0	—
		21	9	1	1	0	—
		22	1	0	1	0	—
		21	8	0	3	2	—
		20	5	0	0	0	—
		21	6	0	0	1	—
		19	6	0	0	4	—
		20	7	1	0	10	—
		(初等教育となる)		(初等教育に含まれる)		(視覚言語障害教育) (特別支援教育コーディネーター専修) (特別支援学校教育専修・特別支援教育コーディネーター専修) (特別支援学校教育専修)	
		19	16	0	—	7	—
		18	14	0	—	8	—
		20	15	2	—	12	—
		11	3	5	—	16	—
		9	0	7	—	9	—
		11	3	—	—	8	—
		(学校教育教員養成課程) 他					
		11	—	11	—	8	—
		11	—	2	—	7	—
		10	—	11	—	8	—
		12	—	9	—	8	—
		12	—	8	—	10	7
		13	—	12	—	8	2
		12	—	10	—	4	7
		14	—	12	—	2	5
		12	—	7	—	5	7
		13	—	1	—	2	6
		9	—	1	—	2	6
		11	—	5	—	9	2
		13	—	4	—	1	4
		11	—	1	—	0	5
		14	—	2	—	0	2
令和元		14	—	2	—	0	—
2		16	—	7	—	0	4

2 本年度の計画

対象	教育実践高度化専攻 特別支援教育コース	学校教育教員養成課程 他 (副免生)	特別支援教育教員養成課程 (主免生)
事前指導	指導講話 授業参観等 (7/1、7/8、7/15)		
実習期間	9月1日～9月14日	9月1日～9月14日	10月1日～10月21日
内容	第1週 ○観察参加 ○授業実習	○観察参加 ○授業実習	○観察参加 ○授業実習
	第2週 ○授業実習	○授業実習	○授業実習 ○他部実習
	第3週		○特別研究授業
授業時数	1単位時間以上	1単位時間以上	2単位時間以上
単位数	2	2	3
その他	(配付物) 教育実習の手引き・学校要覧		

V 入学者選考

1 本校の使命

本校は、学校教育法の規定及び愛媛大学附属学校園の理念に基づき、知的障がいのある子どもの教育を行うとともに、次の任務を果たすこととする。

- 教育の理論及び実際にに関する研究並びにその実証を行うこと
- 教育学部（以下「学部」という）における児童及び生徒の教育に関する研究に協力し、及び学部の計画に従い学生の教育実習や介護等体験を実施すること
- 附属校として実践的研究の成果を生かし、地域における特別支援教育のセンター的機能を發揮すること

2 本校の教育方針

本校は、学校の教育目標に「たくましく生きぬく力をもつ子どもの育成～すべての子どもの自立、社会参加、就労の実現を目指す～」を掲げ、自主的、主体的な生活のできる子ども、学校生活、家庭生活、地域生活、職業生活などの場で役割を果たし貢献できる子どもを育てる。

3 募集人員

(小 学 部) 若干名 (中 学 部) 若干名 (高 等 部) 若干名

4 選考

(1) 新年度入学者選考

小・中学部は11月上旬、高等部は12月上旬に行う。なお小・中学部については、欠員があれば再募集を行うことがある。

(2) 学期途中の転入学者選考

学期途中において定員に欠員のある場合、または、欠員の生じた場合は、転入学者選考を行うことがある。

(3) その他の転入学者選考

その他、特に転入学者選考の必要が生じた場合は、職員会議にかけ、校長がこれを決定する。

5 応募資格

- (1) 主たる障がいが知的障がいで、それ以外の障がいが特に著しくない者
- (2) 保護者の付添い、または、一人で通学が安全にできる者
- (3) 本校の使命や教育方針を理解し、賛同する保護者の子である者

6 願書受付期間

願書受付期間は別に定めるが、概ね選考日の2週間前の4日間とする。

(ただし、学期途中の転入学者選考については3日間とする。)

7 応募手続

(1) 提出書類

入学願書……………本校所定のものに保護者記入

生育調査書……………〃

学校（園）長調査書………本校所定のものに学校（園）にて記入

(ただし、未就学（園）児は、教育センターや児童相談所等で記入したもので代えることができる。)

(2) 入学検定料

規定により大学へ納入する。(小学部1,000円、中学部1,500円、高等部2,500円を郵便小為替で納入する。)

8 選考方法

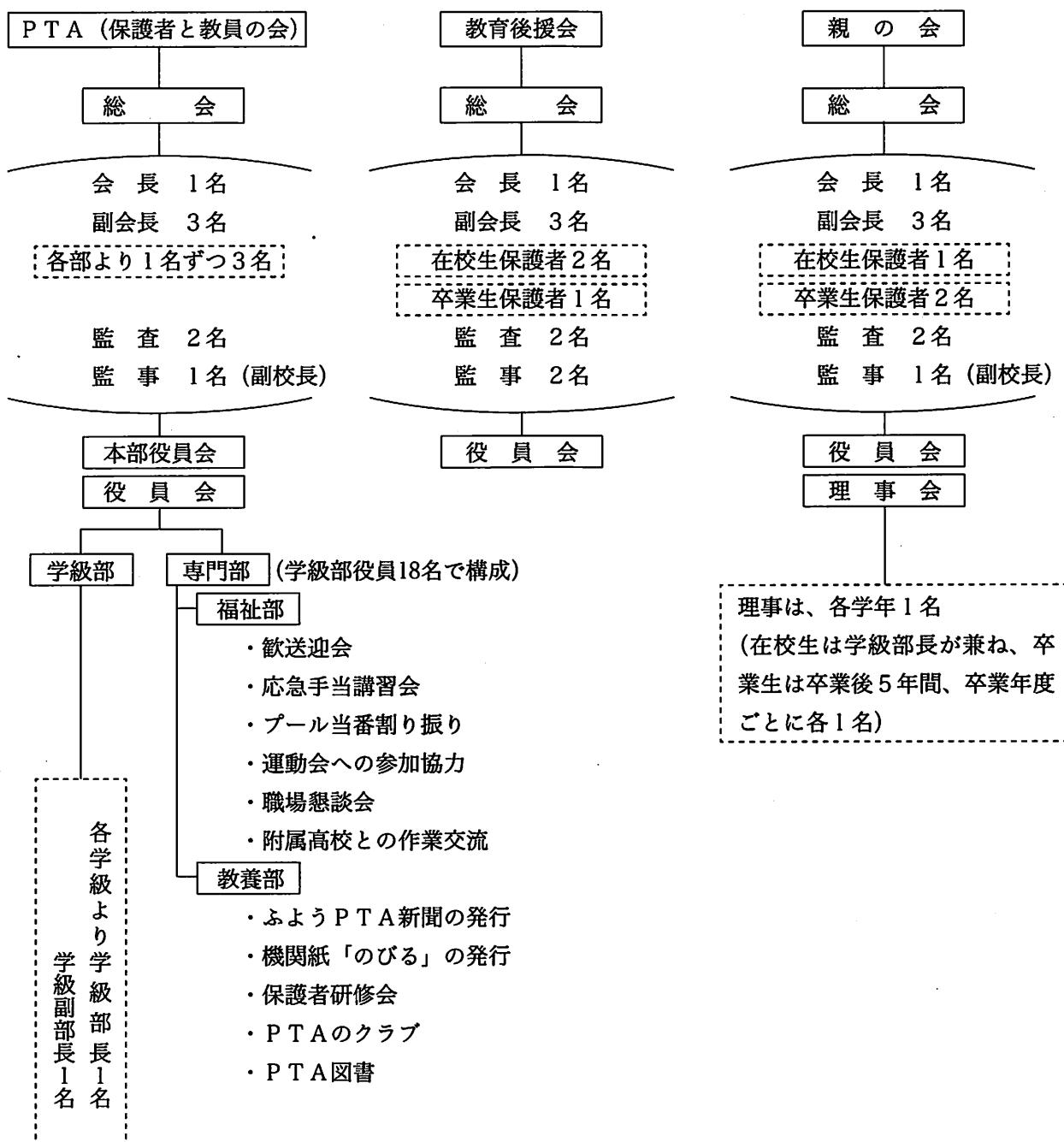
本校の使命に基づき、検査・面接及び調査書の内容等から総合的に判断して、入学者を決定する。

9 今年度入学者選考の日程(予定)

部	願書配付期間	願書受付期間	入学選考日
小・中	8月25日(水)～	10月12日(火)～15日(金)	小11月5日(金) 中11月8日(月)
高	8月25日(水)～	11月10日(水)～15日(月)	12月8日(水)

※入学希望者説明会を8月25日(水)午前中に予定しています。

VI P T A・教育後援会・親の会



VII 津田山実習地・日常生活訓練施設「みかんの家」

1 所在地 松山市北斎院町津田山乙 223 番地

2 津田山実習地の沿革

昭和51年4月1日

松山市北斎院町津田山乙223番地 (14,374m²) に
本校農園実習地として財務局より移管が決まる。

昭和52年3月29日

教場1棟 (129m²) 完成 (現 たけのこの家)

昭和58年3月30日

農機具庫、作業教室 (プレハブ) 移設

平成元年6月1日

水田 (2a) 造成

平成4年4月12日

「日常生活訓練施設」設置が認められる。

平成4年9月1日

「日常生活訓練施設」建設施工

平成5年2月22日

「日常生活訓練施設」の完成

平成5年5月14日

「日常生活訓練施設」の落成式典を挙行し、「みかんの家」と命名する。

平成6年8月10日

貯水池改修工事完成

平成7年4月28日

屋外付帯施設「咲啄庵」完成

平成13年8月

篤志家並びに教育学部事務職員と合同で「みかんの家」の外壁の塗装作業を行う。

平成15年3月

篤志家より雨水貯水タンク1基と灌水用設備の寄贈を受ける。又、タンクを1基設置し約5tの雨水を貯水できるようとする。

平成16年3月

「みかんの家」の大広間の畳の表替えを行う。

平成17年9月

耕うん機購入

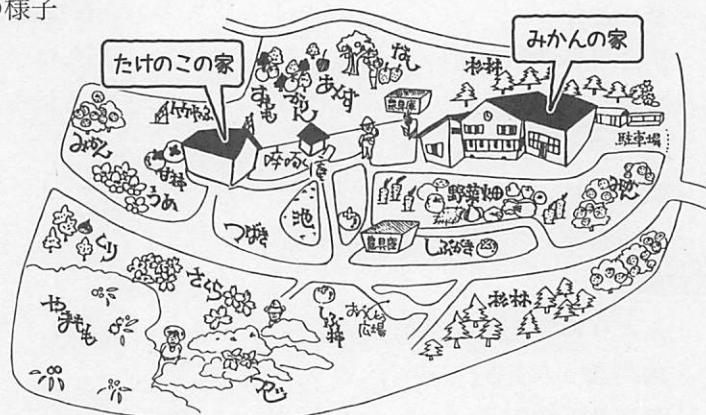
平成21年9月

耕うん機購入

平成28年3月

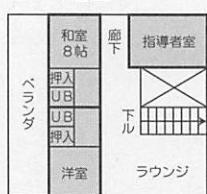
農機具用倉庫の設置

3 津田山実習地の様子



4 日常生活訓練施設「みかんの家」の施設概要

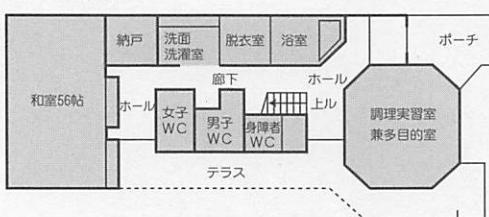
2F平面図



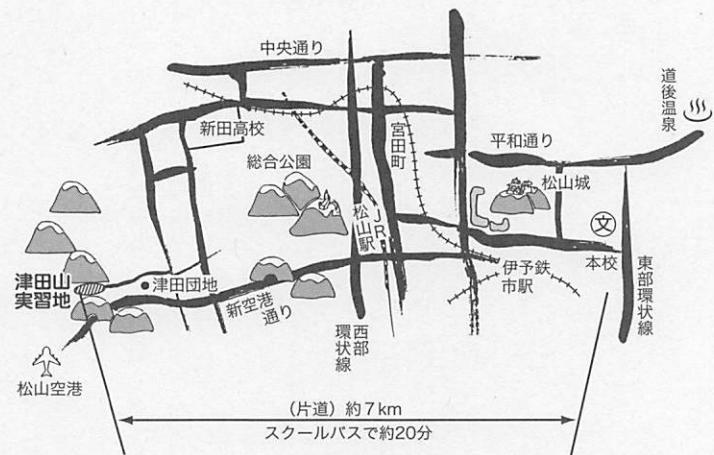
面積

建築総面積	461m ²
1階 和室	99m ²
調理実習室 兼多目的室	66m ²
洗面・洗濯室	16m ²
脱衣・浴室	30m ²
2階 和室	21m ²
洋室	21m ²
ラウンジ	56m ²
その他	152m ²

1F平面図

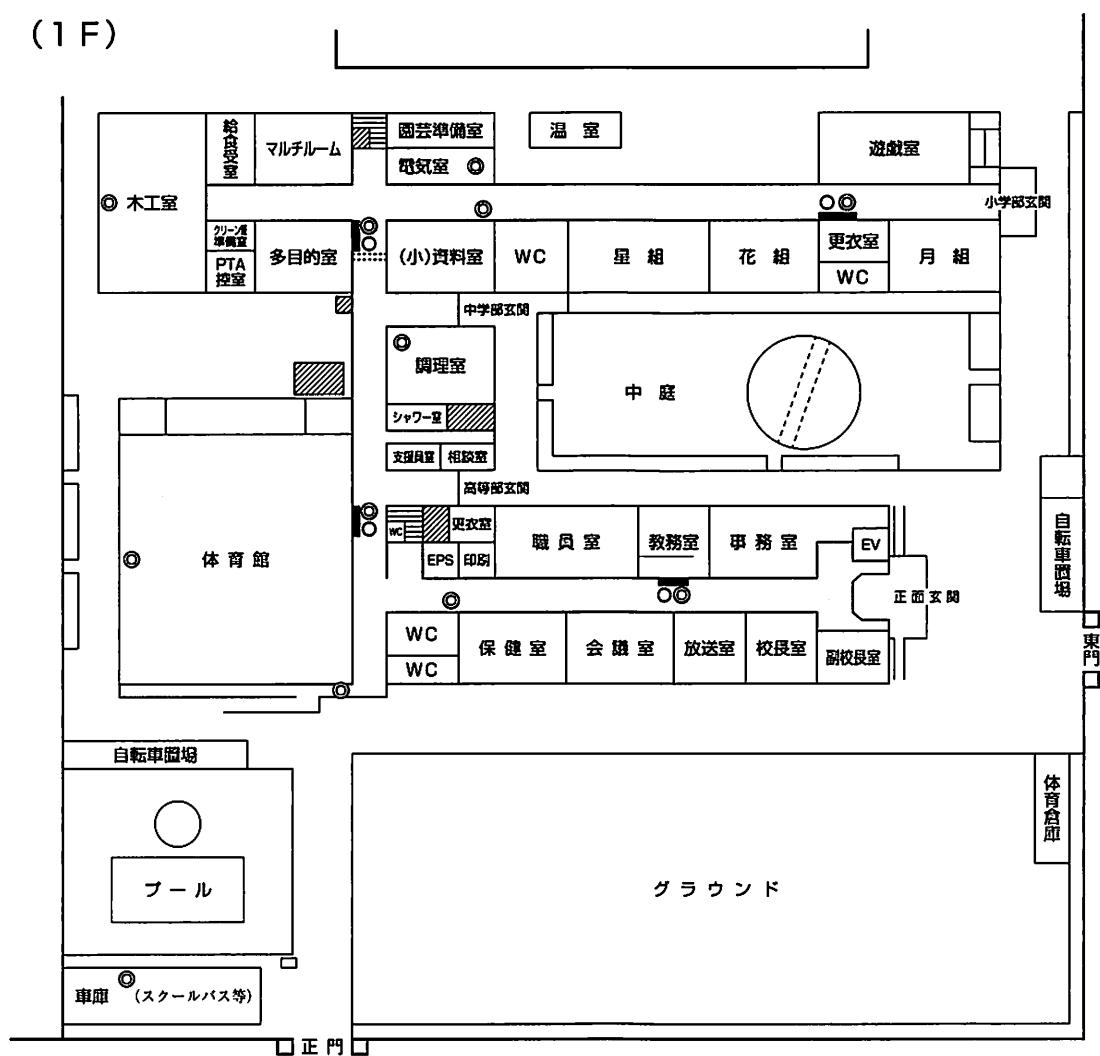


5 津田山実習地の場所



教室配置図 (防火設備配置図)

(1F)



(2F)

